

国際婦人デー東京集会に寄せられた海外からのメッセージ

キューバ共和国からのメッセージ

男女平等達成の闘いは共通の基本的闘い

カルロス - ミゲール - ペレイラ - エルナンデス (駐日キューバ共和国大使)

〈思想運動〉の同志の皆さん国際婦人デーにあたり、駐日キューバ共和国大使館から、そしてわたしから、〈思想運動〉に連帯のご挨拶を送ります。

世界で男女平等を達成していくために闘い続けていくことは、わたしたちそして貴組織が共に厳守し実行していく基本的原則のひとつです。

あらゆる種類の不正義を無くしたいとの思いからキューバの女性たちは積極的に活動し、彼女たちの権限は拡大しました。これらはキューバ革命のなかできわめて自然なものでした。キューバの女性たちは、キューバ革命で単にその恩恵を享受しただけではなく、彼女たちは活動的な指導者として、ゲリラ闘争でもそして革命勝利後今日まで諸課題を男性と共に闘ってきました。これらのことを考えればキューバの女性たちの権限拡大は当然なこととして理解できるでしょう。キューバの女性たちは、わたしたちの社会のあらゆる分野で必要欠くべからざる存在で、より豊かなそして持続可能な社会主義建設の目標実現へ向け課題を共に担い前進しています。

わたしたちの国では、すべての女性が男女平等の諸権利を享受しています。同一労働同一賃金の権利、差別なく教育や健康管理を受ける権利、政治および経済分野での決定機関に選ばれる権利などです。

わたしたちは、こんにち、キューバが世界で二番目に女性議員が多い国であることを誇りにしています。わが国の議員の実に五三%以上が女性です。

キューバは、女性に対して残存する差別を無くし、男女平等を完全に実現するための全世界の取り組みを断固として支援します。

敬具

【訳＝三田博】

(『思想運動』1039号 2019年4月1日号)